二〇二一年四月三日

長靴の花屑洗ふ園丁ら　むべ

鰐口を空打ちしをる春疾風　うつぎ

雪洞のやうな日輪霾れり　凡士

杉山の襞を埋めて山桜　うつぎ

古都駈くる俥夫の背に花の雨　凡士

花満ちて格いや高し南禅寺　たか子

ナナハンの縦列駐車花の坂　うつぎ

インクライン天蓋なせる桜かな　こすもす

潮引いて現るる断層磯遊　なつき

長閑なり乗れば五分で着く渡船　小袖

卒寿翁杖をうつちやり春耕す　かかし

教室に追試の二人春休み　素秀

昼網や一番競りは桜鯛　うつぎ

汀いま渚のごとし雪柳　小袖

飛び石の一つぐらつき野芹摘　なつき

毎週句会秀句・みのる選・二〇二一年四月四日